

皆さんご無沙汰しています。そして新入生の皆さん、初めまして。私は昨年9月からアメリカのジョンズホプキンス大学で在外研究をしています。昨年末の「アメリカ・ボルチモア便り」から約半年が過ぎてしまいました。本来ならばもう少し早くお便り Vol.2 をお送りするつもりでしたが、新型コロナウイルスの影響によりこの時期になってしまいました。

今回は、私の滞在するジョンズホプキンス大学を例にアメリカの大学のシステムについて解説します。また、私の住むボルチモア市について紹介したいと思います。

1) アメリカの大学について

ジョンズホプキンス大学の工学部(Whiting School of Engineering と呼んでいます。)の年間スケジュールの抜粋を Table-1 に示します。1年間に秋学期(Fall term)と春学期(Spring term)の2セメスタ制となっています。秋学期は8月の終わりから12月の第1週まで、春学期は1月の終わりから5月の第1週まで、それぞれ期間は15週です。その後に定期試験。2セメスタ制や1学期15週は日本の大学と概ね同じですね。夏休み(春学期の終わりから秋学期の始まり)がとても長くて羨ましいですね。ただし、春休み(Spring break)は1週間ほど。皆さんはどちらがいいですか？

授業は1回50分を週3回、あるいは2時間50分を週1回など様々な形式があります。概ね50分授業で1単位、1回50分の授業を週3回の教科は3単位(3 Credits)となります。近大など日本の大学は90分授業で2単位、1単位当たり45分なので日本の学生はちょっとお得ですね。1年間(2学期)で30単位以上(GPA2.0以上)取得する必要があります。春学期と秋学期で単位数が足りない場合、あるいはもっと単位が欲しい場合には夏や冬の特別クラスを受講することもできます。学部や学科によりますが120~130単位取得で学部卒(A bachelor's degree)となります。アメリカでは、1年生2年生といった呼び名はありません。1年生はFreshman, 2年生はSophomore, 3年生はJunior,



教室の一例です。基本的に机はなく簡易テーブル付きの椅子か椅子のみ。写真は20人程度の小教室ですが100名程度収容可能な大教室もあります。

Table-1 2019-2020 Academic Calendar for Whiting School of Engineering of JHU

Fall term		Spring term	
Date	Events	Date	Events
8/24~8/28	Orientation for all new undergraduates	1/6~1/24	Intersession
8/29	First day of classes	1/27	First day of classes
10/18~10/20	Fall Break- classes suspended	3/16~3/22	Spring break
11/4	Registration for spring term	4/20	Registration for fall term
11/25~12/1	Thanksgiving vacation	5/1	Last day of classes
12/6	Last day of classes	5/6~5/14	Final examination period
12/11~12/20	Final examination period		
12/21~1/5	Winter break		(summer program)

4年生は Senior といいます。但し、厳密には在学年数による呼び名ではなく、取得単位数によって呼び名が変わります。例えば、30 単位未満を Freshman, 30 単位以上を Sophomore となります。通常は1年間で約30 単位以上を取得するので、2年生≒Sophomore となります。学部生は Undergraduate student, 大学院生(修士課程, 博士課程)は graduate student といいます。

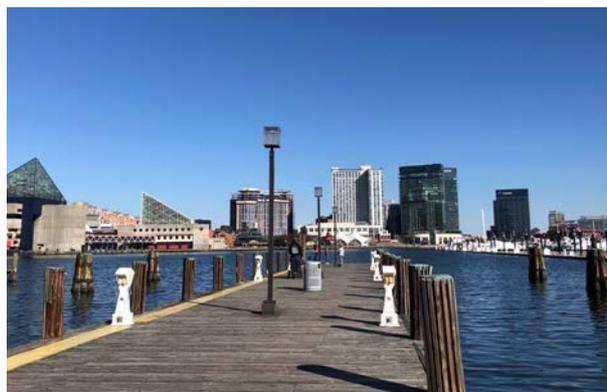
アメリカの大学では、他大学からの編入が珍しくありません。例えば、一般の私立大学や州立大学では学費(tuition)はとても高額なため、最初の2年間は学費が安価な公立の2年制大学(Community college)で学び、残りの半分を一般の大学で学ぶこともあるそうです。州立大学の一部では、その州の高校を卒業していれば学費が約1/4になる大学もあります。この付近ではメリーランド大学がその制度を設けています。

3) ボルチモアについて

前回のお便りではダウンタウンのチャールズ通りとマックヘンリー要塞を紹介しましたが、ボルチモアと言えば、インナーハーバーが最も有名です。そこは、ヨットハーバーに接した市街地で、周辺に飲食店、ショッピングモール、事務所ビルがあります。また、水族館や博物館も。大阪に比べると人通りは少ないですがメリーランド州内では最も繁栄している地区です。そこから、車で5分ほど東に進むとフェルズポイントという地区があります。ここも海沿いでおしゃれな飲食店や雑貨屋が並び、夕方になるとお酒を飲む人たちが賑わいます。また、夏季には毎週土曜日の午前中に朝市が催されています。街並みがとても素敵です。

3) 終わりに

今回はアメリカの大学のシステムについて紹介しました。初歩的な解説でしたが留学を考えている人にとっては有益な情報と思っています。留学を考えていない人も、少しは興味を持って頂けたでしょうか。また、ボルチモアについて紹介しました。あまり知られていない都市ですが、そこにも人々の生活、素晴らしい情景、そして歴史があることを知って頂ければ幸いです。



インナーハーバー。小さな湾に沿ってヨットハーバー、それを囲うように市街地が形成されています。



フェルズポイントの朝市。近くで採れた野菜や卵のほか、ローカルワインも売っています。



インナーハーバーにある BARNES&NOBLE(紀伊國屋書店のアメリカ版)。その右隣は Hard Rock Café。